

大東亜戦争とバブル崩壊の類似性

2019.8.10

田母神道場門下生

スカピッピパパ (bscppmm@yahoo.co.jp)

はじめにすいません

夏休み、遊びすぎで、準備不足です。

軽井沢に行って美味しいフレンチを食べてきちゃいました。

ここ、です。

- ・ 軽井沢に行って来ました～フレンチレストランでの和朝食
<https://ameblo.jp/bscppppp/entry-12060105102.html>

なので、ブログ記事をそのままリファレンスしています。

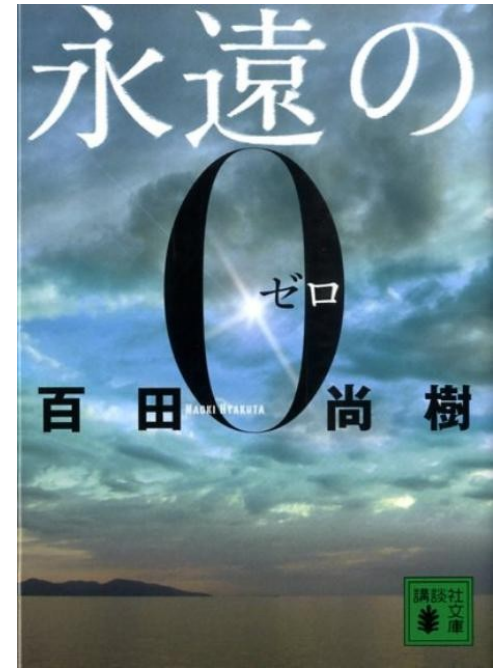
口頭で、かいつまんで説明します。

今回紹介の推薦図書

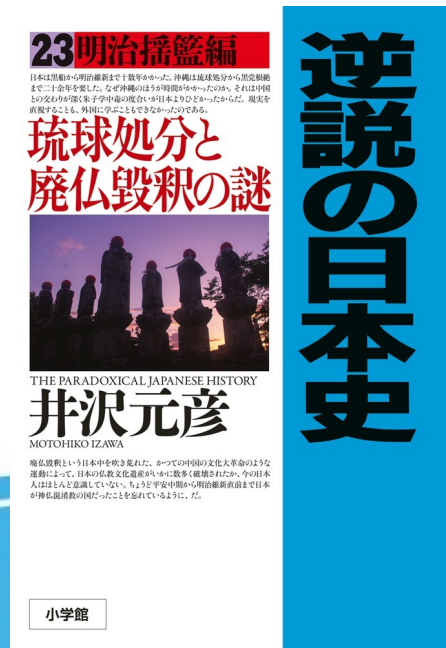
昭和16年夏の敗戦
猪瀬 直樹 著
中公文庫



永遠の0
百田 尚樹 著
講談社文庫



逆説の日本史23
井沢 元彦 著
小学館



マンガでわかる
零戦の動かし方
零戦・戦闘機
研究会 著
宝島社



大東亜戦争とバブル崩壊の類似性

後進国としての日本は、先進国の真似をし、改善することで、
(特に品質面での) 世界一の製品を作り出すことに成功した。

戦前 . . . 零戦、戦艦大和 etc.

戦後 . . . DRAMメモリー、ウォークマン等電化製品

結果として、世界最先進国に躍り出ることには日本は成功した。

ところが、そのとたん、

進むべき方向が決められず、**迷走**を始める。

バカトップ問題

その原因は、トップのお役所仕事、

大東亜戦争の失敗の分析を通じ、

猪瀬 直樹氏、百田 尚樹氏、井沢元彦氏

三氏の結論は一致している。

- 「昭和16年夏の敗戦」を読みました
<https://ameblo.jp/bscpppp/entry-12284739926.html>
- 「永遠の0」から学んだこと
<https://ameblo.jp/bscpppp/entry-12294898629.html>
- 逆説の日本史23を読みました
<https://ameblo.jp/bscpppp/entry-12333056235.html>

特に井沢元彦氏は、この問題を**バカトップ問題**と命名。

トップが現場を知らない

真似する対象がないのだから、何をするか決められるトップが必要！

ところが、相変わらず、試験の成績でリーダーを決めてしまう！

戦前の軍も、リーダーになれるのは海軍兵学校卒の士官だけ。

パイロットの腕前は、何より飛行経験がものを言う。

ここに上がる名パイロットで、士官上がりは1人だけ。

- ・「マンガでわかる！零戦の動かし方」という書籍を読みました
<https://ameblo.jp/bscppppp/entry-12323818320.html>

だから作戦を立てられない

僕のいた会社でも、プログラミングのできない親会社の社員が、
下請けプログラマーを指揮していたりした。

- ・飛行機にどんなことが出来るかが、分からない。
- ・コンピュータにどんなことがさせられるかが、分からない。

これで、有効な作戦が立てられるものであろうか？

バカトップ問題、これは戦前も戦後も一貫する、
日本のリーダー選びの欠陥。

戦前の軍部から、現在の自衛隊まで、脈々と続く伝統でもあると認識。

世間、人間を知らない

ビジョンを持たないトップが、顧客満足第1を唱えるだけ。

そのために何をするのか考えるのが、あなたの役目じゃないんかい！

僕が所属していた会社（つまり現在の日本の組織）も

全く同じ！

- ・ 計画の計画をする人々

<https://ameblo.jp/bscppppp/entry-12054038911.html>

無能なリーダーと有能なリーダー

最後に、

僕が体験した、無能なリーダーと優秀なリーダーの実話を2つ

- ・リーダーシップについて思うこと ～ 優秀な人達のはずなのに
<https://ameblo.jp/bscppppp/entry-12052552470.html>
- ・リーダーシップについて思うこと ～ 僕達のバンドのリーダー
<https://ameblo.jp/bscppppp/entry-12052507596.html>

この欠陥を直さない限り、

日本の復活はない！

と推察する。